# 概要版

# 南伊勢町

# 新絆プラン

- 生命力みなぎる常若のまち -



南伊勢町

発 行 年/2019年9月 編集・発行/南伊勢町まちづくり推進課 〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057 電話:0599-66-1111(代表) FAX:0599-66-1904

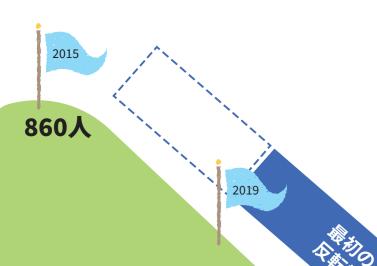


2019年9月 三重県南伊勢町

# 南伊勢町総合計画「新絆プラン」

#### 新絆プラン(総合計画)とは?

南伊勢町のまちづくりの最上位の計画です。



#### 10年後のあるべき姿

# 若者の希望をみんなで実現できるまち

若い世代が希望を持ってこのまちに住み、働き、結婚し、子育てしていくことが 出来なければ、30年後のめざす姿は実現できません。そこで、10年後のあるべき姿を「若者の希望をみんなで実現できるまち」とし、次の環境を整えます。

- ●魅力的な子育で・教育環境
- ●収入と働きがいのある仕事環境
- ●支えあい、学びあう、住みよく、暮らしやすい生活環境
- ●福祉が充実し、災害からも安全で安心な環境

2025

#### 30年後のめざす姿

2035

# 生命力みなぎる常若のまち

南伊勢町の将来がいつまでも若々しくみずみずしい、躍動的な町となって100年、200年と存続し、幸せに暮らし続けていける町になるため、30年後のめざす姿を「生命力みなぎる常若のまち」とします。

- そのために、30年後のめざす姿として次の状態をめざします。
- ●町も地域も常に新陳代謝していくことで若々しさを持続している
- ●自然の恵みから新しい業務、職業、事業などの機会を創造し産業を 再生している
- ●自然と向き合う中でお互いの知恵と力を底力にして、まちの活力を みなぎらせている

# 南伊勢町V字回復戦略

#### 年少人口(0~14歳人口)をV字回復させます

30年後のめざす姿の実現に向けて、概ね10年ごとの戦略の 節目を想定し、最初の10年間を反転期、次の10年間を克服 期、最後の10年間を回復期として3つに区分しています。

まちづくりの基本理念

### 「町民起点のまちづくり」

克服期(2026年~2035年)

年少人口が底を打って少しずつ増え、 反転期の成果が徐々に出てくる期間です。

480人 2025年の年少人口を480人とし、それをまちの年少人口の底にします

#### まちづくりの基本姿勢

南伊勢町を取り巻く様々な課題に立ち向かっていくためには、南伊勢町に関わるすべての人の力を結集していくことが必要です。 そこで、まちづくりの基本姿勢を「総働のまちづくり」とします。

# 「総働のまちづくり」

- ●町民と役場における総働
- ●町内での多様な主体における総働
- ●南伊勢町に関わるすべての主体に おける総働

# 町民 地域 事業 各種 団体 学校 教育機関

#### 新絆プラン策定の背景と特徴

- ○南伊勢町では、2011年度に南伊勢町総合計画「絆プラン」を策定し、地震・津波災害対策と若者 定住対策を最重点課題として取り組んできました。
- ○しかし、南伊勢町の人口は1960年をピークに減少し続けており、このままでは2045年には人口が約70%減少し、極端な人口減少・少子化社会になると推計されています。
- ○このまま人口減少が進むと、町の活力が失われ、自力でのまちづくりも困難になるばかりでなく、南伊勢町消滅の危機に直面することになります。
- ○南伊勢町がこの危機を乗り越えるためには、町民、行政をはじめ、すべての方々が総力をあげ、 ともにまちづくりに立ちあがらなければなりません。
- ○そこで、30年先を見据え、南伊勢町を100年、200年と存続し幸せに暮らし続けていける町にしていくための目標、戦略を「新絆プラン」として策定しました。

あなたの力が必要です!みんなで未来の南伊勢町をつくっていきましょう!

#### 役場の基本姿勢

# 「ともに創り、ともに変える役場」

南伊勢町をこれから100年、200年先にも続いていくまちにしていくため、役場も時代とともに変わり続けられるよう、次の2つの力を発揮していきます。

- ●ともに未来を創造する力
- ●ともに変える力



#### 「基本構想」と「戦略計画」

- ○新絆プランは「基本構想」と「戦略計画」の2つで 構成されています。
- ○基本構想では、基本理念、30年後のめざす姿、 V字回復戦略(30年、10年)などの長期的な方 向性を定めています。
- ○戦略計画では、「最初の10年のV字回復戦略」に 1 子育で・常若教育戦略プロジェクト
- 2 業のイノベーション戦略プロジェクト
- 3 暮らしやすさ戦略プロジェクト
- の3つを掲げ、各政策分野ごとに4年間で実施 する各施策を設定しています。
- ○戦略計画を実行する毎年の予算を実行計画と 位置付けています。

# ■新絆プランの構成 30年後のめざす姿 生命力みなぎる常若のまち 南伊勢町V字回復戦略(30年) 最初の10年のV字回復戦略 1.子育で・常若教育戦略プロジェクト 2.業のイノベーション戦略プロジェクト 3.暮らしやすさ戦略プロジェクト 3.暮らしやすさ戦略プロジェクト 単年度実行計画 予算(毎年度)

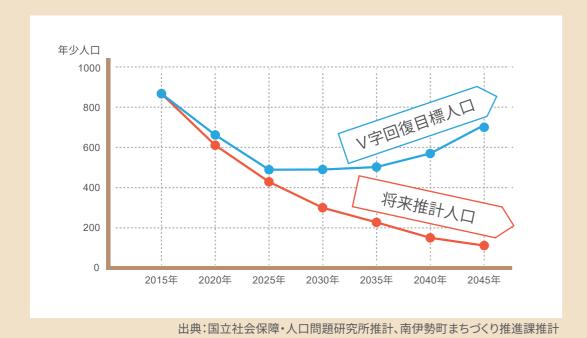
#### 南伊勢町V字回復戦略

#### 30年のV字回復戦略

#### 30年のV字回復戦略目標

南伊勢町の30年後のめざす姿を実現するため、年少人口をV字回復させます 「2045年の年少人口を700人にV字回復させます」

- ○南伊勢町が「生命力みなぎる常若のまち」となり、100年、200年と持続していくまちになっていくためには、年少人口を増やし、人口構成のバランスを良くしていく必要があります。
- ○そのためには、早急に対策を打ち、早い段階で 年少人口をV字回復させなければなりません。
- ○30年後に年少人口をV字回復させるためには、 遅くとも2025年を減少し続ける年少人口の底と して反転していくことが、V字回復戦略の重要ポイントとして実行していきます。



#### 南伊勢町V字回復戦略

#### 最初の10年のV字回復戦略

#### 最初の10年のV字回復戦略目標

2025年の年少人口を480人とし、それをまちの年少人口の底にします (2015年国勢調査に基づく将来推計年少人口421人→480人)

#### V字回復の鍵は「若者」です

- ○年少人口を増やすためには、まずは子どもを生む年齢の女性や、近い将来この年齢に達する若者が南伊勢町 に住み、安心して子どもを生み育てることが出来る環境を創出していくことが必要です。
- ○南伊勢町を若者が住みたいと思うまちにしていくため、次の3つに取り組みます。
- 1 子育て・常若教育戦略プロジェクト 子育てがしやすく、子どもや若者への教育に魅力をつくり、結婚や出産の希望を実現します
- 2 業のイノベーション戦略プロジェクト 働きたいと感じる魅力のある仕事を創り、結婚、出産適齢期を迎える若者の生活力を支えます
- 3 暮らしやすさ戦略プロジェクト 子育て期の若者が暮らしやすいハード面の環境整備だけでなく、コミュニティのあり方に魅力を感じられるようにします

#### 戦略計画の政策体系

5つの目標	謝できるまち 日標1				変えて営むまち 自然の恵みを価値に 目標2	まち 目標3			まち 安全に安心して暮らせる 目標4			行政経営のまち 目標5
政策	政策1 若者が住みたくなるまちづくり	政策2 教育環境を誇れるまちづくり	政策3 発信力のあるまちづくり	政策4 尊重しあい総働できるまちづくり	政策1 地域資源を生かして事業革新できる	政策1 生活に不便を感じないまちづくり	政策2 元気に暮らせるまちづくり	政策3 いきがいをもって暮らせるまちづくり	政策1 暮らしを守る安全なまちづくり	政策2 安心して生活できるまちづくり	政策3 生活基盤が整ったまちづくり	政策1 未来を創造する行政経営

4 5

#### 1 子育て・常若教育戦略プロジェクト(主なもの)

#### ①若者定住•移住

#### (戦略日標)

■2025年の20歳~44歳の女性の人口を推計値に比べ85人増やし515人にします

#### 転出する若者を減らします

- ○住宅取得やリフォームなどの住まいの支援を行 います。
- ○空き家・空き地を有効活用して、住居を求めやす くします。
- ○子育てしやすい環境や、魅 力的な教育環境、暮らし やすい地域環境を役場が 地域住民とともにつくり あげます。



#### 移住する若者を増やします

- ○移住を検討される方々へ、就業、学校、住居など の情報提供を行います。
- ○移住・定住コーディネーター が各区や関係機関と連携し て、地域での交流や移住前の サポート、移住後の生活をフ ォローします。

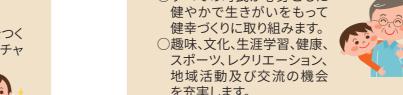


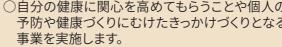
#### 地域の交流・受入体制を整えます

- ○Webで町の魅力、くらしの様子、移住者の声など 移住情報を発信します。
- ○移住者のための住まいの案内や仕事、企業の相 談、移住後のフォローなど手厚く対応します。
- ○地域や地域住民も一緒に協力して受入体制を整 えます。

#### 若者のチャレンジを支援します

- ○コワーキングスペースなどの仕組みや体制をつく り、若者が町内での起業や新たな働き方にチャ レンジできるようにします。
- ○若者が主体的に地域の課題 解決や産業の活性化に取り 組めるようにします。





- ○健康診査等の受診意識の向上とともに受診機 会の拡大に取り組みます。
- ○訪問診療や訪問介護、訪問リハビリ、また看取り などの在宅支援を強化します。
- ○救急医療をはじめとした必要な医療の提供体 制を整えます。

#### ②結婚•出産

#### (戦略目標)

■2025年の女性の既婚者数を推計値に比べ192人増やし312人にします

#### 結婚しやすい環境をつくります

- ○結婚相談窓口を開設し、結婚相談員を配置します。
- ○交流会やイベントなど結婚、妊娠、出産に向けて の意識を高めていく長期的な若者の絆環境づく りを行います。
- ○「南伊勢町結婚サポーター」を募集し出会いを希 望する方々をサポートします。

#### 出産しやすい環境をつくります

- ○家族等からの支援が得られ にくい母子の産前・産後ケア を強化します。
- ○少子化対策に必要なサービ スを提供する拠点を整備し ます。



#### ③子ども・子育て

#### (戦略日標)

- ■南伊勢町で子育て施策が充実していると感じている町民の割合を2025年に58%にします
- ■2019年から英語力、2020年から知力、2021年から体力と新たな幼児教育を実施します

#### 子育て支援が充実させます

- ○出産・子育て期の経済支援やファミリーサポー ト、地域住民による登下校時の見守りなどを行 い、地域の子育て力を上げ子育て世帯の不安や 孤立感を解消します。
- ○世代にあった遊び場をつくり、親同士が交流でき るようにします。

#### 保育の質を上げます

○知力・体力・英語力の向上を中心とした幼児教育 (キラキラ教室)を行います。





#### 4常若教育

#### (戦略目標)

- ■地域での移住者の受け入れ態勢が十分できていると感じている町民の割合を2025年に50%に します
- ■健康感を持って暮らしていると感じている町民の割合を2025年に57%にします
- ■幸福感を持って暮らしていると感じている町民の割合を2025年に47%にします
- ■町内において世代間交流ができていると感じている町民の割合を2025年に50%にします
- ■「地域のために活躍している人材がいる」と感じている町民の割合を2025年に72%にします

#### 常若教育プログラムを実施します

○常若教育プログラムでは、新しいライフスタイル や地域コミュニティのあり方について考え、町民 の意識改革や行動改革に取り組みます。

#### 健幸教育を進めます

- ○すべての町民が心身ともに
- を充実します。
- ○自分の健康に関心を高めてもらうことや個人の 予防や健康づくりにむけたきっかけづくりとなる

#### スポーツを通じた健康づくりに取り組みます

- ○スポーツを通じて交流や親交を深めます。
- ○ICTの活用や医療とスポーツと連携した健幸づ くりに取り組みます。

#### 生涯学習の充実、文化の活用に取り組みます

- ○町民の自己実現や生きがいづくりにつながるこ れからのまちづくりにあった生涯学習の場を開 設します。
- ○伝統文化・文化財や芸術文化を活用したまちの 活性化に取り組みます。

#### ふるさと教育を充実します

○ふるさとを愛し、地域に貢献する心を育てる地域 に根差した「ふるさと教育」を関係機関とのつな がりを強めより充実していきます。

#### 青少年健全育成に取り組みます

- ○子ども達が保護者や地域の大人と楽しく一緒に 活動できる機会を作ります。
- ○町外の子ども達が交流できる場を作り、日常で は経験することができない交流を通じて、友情と 豊かな心を育みます。

#### 地域リーダーを育成します

- ○住民主導でまちづくりができる人材や団体の育 成を支援します。
- ○コミュニティビジネスや地域づくりへの参加を通 じ、新たな地域リーダーの育成やネットワーク化 を進めます。

#### **⑤まちのプロモーション**

#### (戦略目標)

■2025年にホームページアクセス数を74.000件、公式SNSフォロワー数を2300件、町の魅力が 町内外に十分に伝わっていると感じている町民の割合を50%にします

#### 地域ブランドメッセージを構築します

○地域ブランドメッセージ と地域資源を活用した 地域ブランディング、 マーケティング戦略を 構築します。



#### まちの魅力を発信します

○まちの魅力やさまざまな取組みを各種メディア や集客地などでPRし、南伊勢町のブランドイメ ージを高めます。

#### 2 業のイノベーション戦略プロジェクト(主なもの)

#### ①第1次産業

#### (戦略目標)

- ■2015年から2025年までの水産業の新規就業者を74人増やします
- ■新たな養殖魚種に挑戦する経営体を2025年までに1経営体増やします

#### 活力ある水産業へ挑戦します

- ○養殖漁業のICT化やAI等の技術活用に挑戦 する先進的な漁業者に対する、漁業近代化資金 の活用などの支援を行います。
- ○ヴァージンオイスターやヒロメ等、種苗から1年 未満で出荷できる養殖経営に取り組みます。
- 駆除を行っているウニを活用した試験養殖や アワビの陸上養殖の技術確立に取り組みます。
- ○サバの試験養殖を行うなど新たな挑戦に挑み、 これらを民間事業者にフィードバックできる体制 を構築します。
- ○漁業就業のための移住相談への参加、漁業現場 での長期研修支援などを行うことで漁業就業者 を確保します。
- ○高齢化によって漁業を 辞める漁業者の漁船・ 漁具等の資機材を 新規就業者へあっせん できる仕組みを構築し ます。



#### (戦略目標)

- ■2015年から2025年までの農業の新規就業者を25人増やします
- ■果樹園地のイノベーションモデル団地を2025年までに1箇所造成します
- ■人・農地プラン策定区を2025年までに5区増やします

#### 魅力ある農業へ転換します

- ○緩傾斜地に果樹のイノベーションモデルとなる 生産団地をつくり農業の機械化を進めます。
- ○果樹園地を新規就業者へ継承できる仕組みを 創り若い就業者の参入を促します。
- ○農業の会社化を推進し、就業産業へ転換することで、後継者・新規就業者の育成と休みの取れる仕事環境づくりを進めます。
- ○農産物の生育データ可視化の技術活用、トラクター等の農業機械の自動運転技術の活用、6次産業化などに取り組みます。
- ○若者の農業就業の場としての農地の整備や農業技術習得の支援などにより、新規就業者を増やします。
- ○生産・加工・流通の各段階でビジネスマッチング した6次産業化された持続可能な新たな農業 経営体制を構築します。

- ○南国系フルーツや花卉の試験栽培、ICT等を活用した生産・品質管理により高くても価値が高くて消費者が満足できる作物の栽培に挑戦する若い就業者を支援します。
- ○「みかんの学校」などによる技術支援、就業フェア 等により就業者を確保します。また、農業ボラン ティア、企業のCSR活動等を活用した繁忙期の 労働力不足解消対策に取り組みます。



#### (戦略目標)

- ■2015年から2025年までの林業の新規就業者を19人増やします
- ■異業種の林業参入経営体を2025年までに1経営体増やします

#### 新たな価値を生む林業に再生します

○自伐型林業(採算性と環境保全性の高い林業) を営むNPO法人等の設立や森林ボランティアの 就業体験など、新規就業者の育成など森林施業 を行う仕組みづくりに取り組みます。



#### ②第2次、第3次産業

#### (戦略目標)

- ■2015年から2025年までの二次産業の新規就業者を202人、三次産業の新規就業者を59人増やします
- ■遊休施設の利活用数を2015年から2025年までで0件から6件に増やします
- ■若者チャレンジ事業の取組数を2025年までで3件に増やします
- ■2025年の観光入込客数を40万人に、うち外国人観光入込客数を1万人にします
- ■熊野灘沿岸広域観光ルート整備協議会(仮称)を設立します

#### 産業再生、活性化を支援します

- ○サテライトオフィスやITベンチャー事業者の誘 致を進めます。
- ○町の魅力発信と地域経済の活性化のため、特産 品開発の商品開発を支援し、町外への販路を開 拓します。
- ○Webプロモーション効果や、ゲストハウスを活用した地域や施設の魅力創出に必要な機能、サービス等を調査します。また、それらの調査結果を町内事業者に広げ、産業改革につなげます。
- ○地元企業の情報を取りまとめ、都市部に進学した若者や南伊勢町(故郷)に戻ろうとする方々に南伊勢町から通勤可能な職場の情報やインターンシップ補助制度の情報をお知らせします。



#### 新たな観光の魅力を創出します

- ○外国人観光客が訪れやすいよう、多言語表示、 Wi-Fi環境の整備、キャッシュレス化などを推進 します。
- ○新たな体験型観光業としての誘客のための環 境づくりを行います。
- ○剣道の影流の祖、愛洲移香斎にちなんだ「愛洲 の館」や、シーカヤック・スキューバダイビング、ス カイダイビングなどの体験型観光をインバウンド 観光の目玉になるよう観光商品化します。
- ○南伊勢町ならではの地域資源を体験できる「滞在体験型観光」の窓口となる南伊勢町DMO (観光地域経営組織)を設立します。



#### 医療、介護サービス業への就業を促進します

- ○町内の医療機関同士が連携し、医療から介護へのケア体制を整えます。
- ○町内の介護サービス事業所への若者の就業や 介護サービスの事業継続を支援します。
- ○外国人介護者確保のため介護施設の組合と連携を進めます。



#### 循環型社会システムを構築します

- ○町内から出たゴミなどを資源としたバイオマス 発電を行います。
- ○ゴミを処理する過程で電気や熱エネルギーを生み出し、持続可能な廃棄物処理を実施します。



 $8 \hspace{1cm} 9$ 

#### 3 暮らしやすさ戦略プロジェクト(主なもの)

#### ①若者の住まい環境

#### (戦略目標)

■新たに確保する住居等の数を2019年から2025年までで94世帯分増やします

#### 賃貸住宅が整備されています

○津波の心配の無い高台に 賃貸住宅を整備します。



#### 住宅の取得を支援します

- ○津波の心配の無い高台に若者用宅地分譲地を 整備します。
- ○新築住宅等取得支援補助金などにより、新築住宅の建設や中古住宅の購入・リフォームをしやすくします。
- ○定住者や移住者が容易に宅地を探すことができるようにします。

#### 空き家を活用します

- ○空き家バンクリフォーム支援補助金などにより、 リフォームをしやすくします。
- ○高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保 に配慮が必要な方に対応できる賃貸住宅として 空き家を活用します。
- ○電化製品や家具、食器などをあらかじめ備え付けた短期利用向けのお試し住宅を整備します。



#### ②生活基盤(暮らしの不便の解消)

#### (戦略目標)

■南伊勢町に住み続けたいと思う20歳から44歳の人の割合を2025年までに70%に増やします

#### 子育て環境を充実します

#### ■小児医療

- ○子育て世代が町内で検診や診察を受けやすくします。
- ■保育部
- ○南勢地域の保育所を、安心して子どもを預けられる高台へ移転します。

#### ■公園

- ○親子、地域の方々が交流でき、子育てがしやすい と感じられる魅力ある公園などの遊び場を整備 します。
- ○公共施設や空き店舗、空き地などの場所を活用 した子どもの遊び場を整備します。

#### ■図聿館

- ○五ケ所地区と吉津地区以外の地区でも図書の 貸し出しができるようにします。
- ○「まなびの広場」が中学生、高校生が通いやすい 場所になり、学校終わりの自習や軽食が食べら れる居場所になれるようにします。



#### 交通環境を充実します

- ○町営バスの利用状況に応じたルート変更やダイヤ改正などを行い、利便性をさらに向上させます。
- ○深夜型シャトルバス、夜間のデマンドバスなど、 町内外からの夜間移動の不便さの解消に取り 組みます。
- ○カーシェアリングなどのシェアリングエコノミー の普及に取り組みます。
- ○「空飛ぶクルマ」などによる物流の実験拠点として関係機関への働きかけを進めます。
- ○出産時タクシー助成制度の導入などにより、「マタニティタクシー」の普及に取り組みます。
- ○運転免許を持たない子どもや高齢者を支える移動手段として、自動運転やグリーンスローモビリティ等の新たなモビリティサービスの実現を推進します。



#### ③暮らし環境

#### (戦略目標)

■南伊勢町は住みやすいと思う20歳から44歳の人の割合を2025年に80%に増やします

#### ダイバーシティ(多様性)の考え方の浸透に取り組みます

#### ■女性の働きやすさ

- ○男女ともに、ワークシェアリングやテレワークな どの多様な働き方が進むよう働き方改革を推進 します。
- ○第1次産業など、今まで女性の活躍が少なかった分野での活躍を支援します。
- ○子育て中の母親や高齢者などの「ちょっと働きたい」と地域の「ちょっと手伝ってほしい」のニーズをつなぐ仕組みをつくります。



#### ■移住者、外国人の暮らし環境

- ○「暮らしの便利帳」の多言語化など、移住者にとっての暮らしの情報がわかりやすく伝えられるようにします。
- ○移住者、外国人の住みやすさに関するフォロー を行う移住コーディネーターを養成します。

#### ■地域における暮らしの環境

- ○区や活性化団体など地域における女性活躍の 推進や地域や企業、団体における女性活躍の場 の拡大を支援します。
- ○移住者、外国人などの異なる文化を持った人たちとの交流を持ち、多文化共生の理解を深めます。

#### ■子どもの暮らし環境

- ○子どもを育てる家庭のサポートや子育て支援、 地域ぐるみの子育て支援を推進します。
- ○青少年健全育成や学校でのダイバーシティ教育 の充実に取り組み、多様な子ども達が地域や学 校で暮らしやすく生活できるようにします。

#### ■障がい者の暮らし環境

- ○障がい者の活動機会を増やし、障がいのある人もない人もお互いを理解しながら共に生きる地域づくりを進めます。
- 放課後等デイサービスの設置など、障がいを持つ子どもや保護者に対する支援を充実します。
- ○農福連携など、障がい者に応じた新たな雇用の 機会をつくります。

#### 高齢者の元気づくりを進めます

- ○高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防 など高齢者の元気づくりに取り組みます。
- ○元気なうちからの介護予防や生きがいづくり活動 の拠点を、地域の中に整備するため支援します。
- ○町内の不足する介護サービス等が充実するよう 推進します。
- ○子育て経験のある高齢者が地域ぐるみで子育て 世代を支えたり、子どもの遊び場を見守るなど、 地域で活躍できる取り組みを進めます。
- ○多世代が交流した活動など高齢者と若者のつ ながりを大事にすることで、まちの活性化につな げます。



#### 4コミュニティの再生

#### (戦略目標)

- ■まちの再生協議会(仮称)を設置しコミュニティ再生の方針を策定します
- ■コミュニティ再生協議会(仮称)を設置し2025年までに5つ以上の団体が新たなコミュニティ形成のためのビジョンを策定します
- ■新たなコミュニティ形成の取組みを3つ以上の団体で取り組みます

#### 生活圏域を想定したコミュニティの再生を進めます

- ○将来に向けて、南伊勢町の町の形やコミュニティの再生のための方向性、方針を考える場を設置します。
- ○地域ごとに、地域の特性を生かした新たなコミュニティの形成について検討する場を作り、ビジョンの作成と実現への取組みを促します。
- ○町民によるまちづくり活動を将来にわたって持続的に進めていくためのまちづくりの人材を育成します。



11

10